

社会資本総合整備計画														事後評価書													
計画の名称		寺井地区都市再生整備計画																									
計画の期間		平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当															
交付対象		能美市																									
計画の目標		大目標：地域住民の交流から育まれる寺井まちなかの活性化 目標1：地域の文化や人、町並みを活かして賑わいを再生する 目標2：市街地へのアクセス改善によって求心力を高める 目標3：子育て世代が安心して暮らせる居住環境を整える 本地区は、旧北国街道の宿場町として古くから栄えた。また、九谷焼産地の1つとしても花開き、明治時代には「ジャパנקタニ」を海外へと羽ばたかせ、華やかな中心市街地を形成してきた。しかし、近年は社会情勢の変化による商業機能の低下が著しく、空家や空店舗が目立つ状況にある。 このことから、住民主体で各ソフト事業を実施することにより地域の活力向上を図り、道路整備による隣接地区とのアクセス強化や新たな保育園を核とした子育て環境の充実強化などを通して、「地域住民の交流から育まれる寺井まちなかの活性化」を推進することとしている。																									
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		2,825		A		2,825		B		0		C		0		D		0		効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0		%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)	(H29末)	(H32末)
1	空家や空店舗の活用件数を、1件（H25）から 6件（H32）に増加			
	能美市の助成制度を利用する等、空家や空店舗をリノベーションして活用を図った件数	1件	4件	6件
2	中心商店街の自転車歩行者数を、200人/12h（H25）から 310人/12h（H32）に増加			
	商店街通り（寺井図書館前）における平日昼間12時間あたりの自転車歩行者数（観測値）	200人/12h	200人/12h	310人/12h
3	子育て環境に対する満足度を、57%（H25）から 68%（H32）に増加			
	市民満足度調査による寺井小学校区の「児童福祉・子育て支援の取り組み」項目に対する満足度（満足・やや満足）	57%	67%	68%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
本来の計画期間は、平成26年度から平成31年度まで																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	能美市	直接	能美市	－	－	寺井地区都市再生整備計画事業	能美東西連絡道路整備、寺井保育園整備 外	能美市	■	■	■	■	■	2,825		策定済
											小計						2,825		
											合計						2,825		

事 後 評 価		
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	
寺井地区における都市再生整備計画事業の事後評価として、成果及び実施過程の評価、効果発現要因の整理、今後のまちづくりの方策の策定を行ったうえで、原案の作成、公表、事後評価委員会での審議を経て最終的にとりまとめた。	令和3年2月～令和3年11月	
	公表の方法	
	市ホームページに掲載、市ホームページに原案を公表する旨を広報へ掲載、まち整備課窓口での閲覧	
○事業効果の発現状況		
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	○空店舗・空家の活用件数 能美東西連絡道路整備やまちなか環境の整備等のほか、地域住民自らによる活動も功を奏し、まちなかにおける空家・空店舗の利活用が促された。 ○中心商店街の自転車歩行者数 コロナ禍の影響もあり目標値には達しなかったものの、地域住民のアイデアでボラードに陶板を設置した能美東西連絡道路整備や地域住民自らが検討した図書館前広場や案内サイン整備などが地域の魅力を高め、従前値に比べ中心街を通行する自転車歩行者数が増加した。 ○子育て環境に対する満足度 子育て支援事業（別事業）の充実に加え、寺井保育園やふれあいプラザの整備、通園・通学路の歩行空間整備、地域住民自らが検討に携わった図書館前広場の整備等により、地域住民の満足度が向上した。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・地元まちづくり協議会では「無理しないで、自分の好きなことを、ちょっとずつ試してみる」を活動コンセプトとして、地区の活性化に向けた活動が団体・個人問わず開催されている。 ・自分のできる範囲で住まいを一般に公開する活動である「住み聞き」は協議会メンバー個人が自主的に行っている活動であり、自宅をミーティングやちょっとしたイベント、談笑できるスペースとして利用することにより、地域コミュニティが醸成される。 ・地元まちづくり協議会のイベント活動の拠点の1つである空き家（旧料亭）は、古本市・華道展、演劇や課外学習等の比較的規模の大きいイベントで、地元小中学生と住民の交流の場として活用されている。 ・イベント広場（図書館前広場）や能美東西連絡道路のデザイン検討に当たっては、地元協議会が主となったミーティングを開催し、議論したアイデアを整備内容に反映している。 ・能美東西連絡道路の歩道には、地元協議会が考えた地区のまちづくりのテーマカラーで「べんがら色」のブロック舗装が採用されているほか、交通安全目的で設置したボラードには、地元の小学生がデザインした九谷焼の陶板が埋め込まれ、寺井地区らしさを演出し、地区住民に親しまれている。	
○特記事項（今後の方針等）		
本事業を契機として設置された「寺井町活性化協議会（寺井町活性化協議会（てらかつ協議会）」とも必要に応じて協力しながら、地区の将来のまちづくりについて住民の声を聞く機会を設ける。 上記協議会が自立したまちづくり組織として、活動しやすい環境づくりを後方支援していく。		

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	空店舗・空家の活用件数		
	最 終 目標値	6件	
	最 終 実績値	6件	
2	中心商店街の自転車歩行者数		
	最 終 目標値	310人/12h	コロナ禍の影響のため。
	最 終 実績値	305人/12h	
3	子育て環境に対する満足度		
	最 終 目標値	68%	
	最 終 実績値	73%	